

令和8年7月8日(水)

校長室より⑤⑤



こんにちは。

今日は、久しぶりに朝から日射しが出ていて「暑い」と感じる日になりました。校門前のひまわりも太陽の光を受けてさんさんと輝いていました。



1年生が「とうもろこしの皮むき体験」をしました。担任の先生の説明を聞いたあと、1枚1枚皮を剥いていくとうもろこしの実(つぶつぶ)が出てきました。今日の



給食で出たとうもろこしは、そのとうもろこしです。

昨日、7月7日は「七夕」でした。七夕の夜にだけ、織姫と彦星が会えるということは知っていると思います。そのストーリーを簡単にまとめました。

- ① 織姫(機織りの名人)と彦星(牛飼い)は、結婚したあとあまりに仲が良すぎて、全く仕事をしなくなってしまいました。
- ② それに怒った神様は、2人を「天の川」の右と左に引き離してしまいました。
- ③ 2人がとても悲しんだので、神様は「まじめに働くのなら、7月7日の夜だけ会わせてあげよう。」と約束しました。
- ④ それから2人は一生懸命働いて、1年に1度だけ会えるようになりました。

昨夜は、ほぼ曇りだったので天の川は見えませんでした。果たして、織姫と彦星は会えたのでしょうか。職員室と校長室の前には、用務員の久保木真子さんが用意してくれた笹飾りがありました。昨日は、願いごとを書いている子がたくさんいました。願いごとが付いている笹飾りは、すぐにしまわないと願いが叶わなくなるので、同じ用務員の井上由紀さんが今日片付けてくれました。

